

硫黄酸化物濃度	m ³ N/h	18	13										
排ガスを採取した年月日		R3.4.5	R3.4.6										
結果が得られた年月日		R3.4.23	R3.4.23										

7. 排ガス中のダイオキシン類濃度測定結果

[測定位置：集じん器出口]

区 分	単 位	1号炉	2号炉
排ガス中のダイオキシン類濃度	ng-TEQ/m ³ N	0.0029	0.000091
排ガスを採取した年月日		R3.4.5	R3.4.6
結果が得られた年月日		R3.4.27	R3.4.27

【測定項目等の説明】

- ばいじん濃度 : 物の焼却とともに発生する。このうち、すす、完全燃焼した灰分、燃焼並びに熱分解による固形粒子をいう。
- 塩化水素濃度 : 塩化ビニール樹脂等の燃焼の際に発生し、刺激臭を有する無色の気体である。自然界では火山活動等で発生する。
- 窒素酸化物濃度 : 石油、ガス等の燃料の燃焼に伴って発生し、その発生源は工場、自動車、家庭の厨房等多種多様である。
- 硫黄酸化物濃度 : 石油や石炭を燃やすとそれらに含まれている硫黄分が酸素と結合して発生する。天然には、火山温泉等に存在する。
- ダイオキシン類 : 塩素、酸素、炭素、水素の存在下で、ものが燃焼するときに発生する有機化合物である。ごみ焼却、タバコの煙、自動車の排ガス、野焼きのほか様々な発生源から副生成物として発生する。また、ダイオキシン類は、自然界でも発生することがあり、例えば、森林火災、火山活動等でも生じるといわれている。